

# 大会宣言

2002年10月17日、僕は、あの日の事を決して忘れない！

父は、「日本を、信じろ！」と言い遣し、79年の生涯を閉じた。

無念だったろう。

あれから13年、政治は動かなかった。

ルミ姉、僕はこの命尽きるまでに、あなたの笑顔に再び逢えるのだろうか？

巨大な国家権力の前に、為す術なく、虚しく時だけが過ぎて行く。

「逢いたい！逢いたい！一目でいい、逢いたい！」我々は、もう限界だ！

父が死に、横田さん、有本さん、みんな満身創痍だ！

言い訳やごまかしの政治はもういい！

国民の生命と財産を護る！

国家としての最低限の責務を果たして欲しい！

一、政府は、拉致被害者全員の無条件帰国が最優先であると北朝鮮に強く発信せよ！

一、政府は、昨年解除した部分的制裁復活はもとより、より強固な制裁措置を直ちに実施せよ！

一、政府は、日本人拉致の指令機関だった朝鮮総連東京本部施設を再度強制執行せよ！

我々は疑惑だらけの一連の売買から賃貸借契約を断じて容認しない！

速やかに施設を更地化するためのあらゆる手段を構築せよ！

それが、北朝鮮を追い詰める最も効果的な手段だ！

一、政府は、朝鮮半島情勢がキナ臭い現在（いま）、不測の事態を想定して、米軍との連携をより緊密にして自国民救出の備えを万全にせよ！

一、政府は、嘘を嘘で塗り重ねる北朝鮮との外交交渉を一時停止して、偽遺骨の提供や、約束不履行等数々の悪事を具体的且つ詳細に国際社会に発信せよ！

内閣の命運にかけて拉致被害者奪還に取り組むとする安倍総理大臣に期待して、以上宣言する。

平成27年10月12日